

科目名		インテリア実習Ⅰ			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		インテリアにおける、プロダクト、トレンドやデザイナーについてなど幅広い知識を学ぶ。また、企業とのコラボでニーズに合わせた空間演出を課題を通してトレーニングする実習 1. 説明→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 校外授業として企業や店舗の見学を行い、見聞も広げる。			
学習目標（到達目標）		インテリアコーディネートに必要な知識を学習し、適切な選択と提案ができるようになることを目指します。 また効果的なプレゼンテーションのためのテクニックを習得します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①超図解で全部わかるインテリアデザイン入門・ ②はじめてのインテリア製図			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	インテリアイメージの種類・イメージを決める要素 ①イメージスクラップ等の用途とイメージ決定プロセス			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
2	イメージスケールについて ①イメージスケール表 2インテリアイメージの実現方法			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
3	インテリア構成材の知識 床・壁・天井・建具・造作材等インテリア構成材の種類を把握する			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
4	窓周りの装飾知識 ①窓周りの装飾の種類 ②適切な装飾プランの提案			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
5	家具の知識・フロアプランの知識 ①家具の種類と配置の知識 ②フロアプランの作成する			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
6	照明器具の知識 ①照明器具の種類 ②適切な配灯計画・器具提案			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
7	戸建のインテリアコーディネート ①クライアントの要望に合わせたインテリアコーディネート実習			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
8	平面図・展開図のショードローイング ①建築図面を基に、居室のコーディネートをショードローイングで表現する			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
9	着色技術・プレゼンボード作成のテクニック ①コーディネート内容の効果的提案すとプレゼンボード作成			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
10	ショールーム等見学 住宅関連のショールームで実際に流通している商品を確認する			方法：ショールームで各エレメントの機能を学ぶ。 見学前：見学目的を明確化 見学後：レポートで、見学の効果を確認 準備学習：現場研究とマナー等の指導	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			プレゼンテーション技法を学び、2年次インテリアコーディネーター資格試験合格を目指します。実務に活かせる知識やテクニックを学習し、即戦力となるようしっかりと技術を習得しましょう。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴20年			